

看護福祉学研究科 看護学専攻

○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、各授業科目、アドミッション・ポリシーの対応表

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	各授業科目	アドミッション・ポリシー
1. 時代の変化に伴い多様化・複雑化するヘルスケアニーズに対して専門性の高い看護を発展的・創造的に実践する能力を身につけている	1. 学際的視野を涵養するために、環境保健学特論、精神健康学特論、保健・福祉研究方法論等の社会福祉学専攻との「共通科目」を配置する 3. 看護マネジメント学、健康科学・基礎看護学、成人看護学、老年看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学、地域・在宅看護学、公衆衛生看護学の9領域を置き、それぞれの専門的知見を深める「専攻科目」を設ける	共通科目：4科目、精神健康学特論他（詳細はシラバスに記載） 看護学専攻共有科目：看護理論 専攻科目：看護マネジメント学特論他9領域の特論（詳細はシラバスに記載）	2. 専門的知識と実践力の更なる向上を目指す意欲をもっている
2. 生命の尊厳と人権擁護の立場から高い倫理観に基づく質の高い看護を実践する能力を身につけている	2. 日々発展する医療技術と看護、社会福祉に応じた知識と技術の向上を図り、リーダーとして貢献するために看護理論、看護倫理学、看護教育論、看護管理学等の「看護学専攻共通科目」を配置し、さらに「社会福祉学専攻科目」および本研究科の指定する「経済・経営学研究科」の授業科目を履修できる編成とする	看護学専攻共有科目：看護倫理学 専攻科目：看護マネジメント学特論他9領域の特論（詳細はシラバスに記載）	2. 専門的知識と実践力の更なる向上を目指す意欲をもっている
3. 看護学の発展に寄与するために、看護実践上の課題の解決に向けた学際的な高い研究能力を修得している	3. 看護マネジメント学、等の9領域を置き、それぞれの専門的知見を深める「専攻科目」を設ける	看護学専攻共有科目：看護研究方法論 専攻科目：看護マネジメント学演習他9領域の演習（詳細はシラバスに記載）	1. 人々の健康や生活にかかわる課題を理論的に探究するため主体的に研究に取り組める
4. 保健・医療・福祉分野の専門職や多職種と連携・協働し、リーダーとなる能力を身につけている	1. 学際的視野を涵養するために、環境保健学特論、精神健康学特論、保健・福祉研究方法論等の社会福祉学専攻との「共通科目」を配置する 3. 看護マネジメント学、等の9領域を置き、それぞれの専門的知見を深める「専攻科目」を設ける	共通科目：4科目、精神健康学特論他 看護学専攻共有科目：看護倫理学 専攻科目：看護マネジメント学演習他9領域の演習（詳細はシラバスに記載）	3. 看護学の発展に寄与し、社会に広く貢献したいという目的意識をもっている
5. 看護マネジメント学領域では1～4に加え、ヘルスケアシステムの変革に対応し、組織を管理運営できるマネジメント能力を身につけている	4. 看護マネジメント学では、日本看護協会が審査する認定看護管理者のカリキュラムを反映し、組織の管理能力と資質を持ち、ヘルスケアシステムの変革に対応できる組織マネジメント能力を向上できるように編成する	看護学専攻共有科目：看護政策論、看護管理論 専攻科目：看護マネジメント学特論、看護マネジメント学演習、看護マネジメント学特別研究 経済経営学研究科目：5科目、経済理論他（詳細はシラバスに記載）	3. 看護学の発展に寄与し、社会に広く貢献したいという目的意識をもっている

看護福祉学研究科 社会福祉学専攻

○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、各授業科目、アドミッション・ポリシーの対応表

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	各授業科目	アドミッション・ポリシー
1. 個人と社会のウェルビーイングを高める社会福祉実践・社会福祉政策の価値を創造することができる	2. 日々発展する社会福祉及びその関連分野に関する知識と技術の向上を図り、多角的視点での生活課題解決等を図れるリーダー人材を養成するため、社会福祉学特論、社会政策特論等の社会福祉学専攻の「特論科目」を配置し、さらに「看護学専攻科目」および本研究科の指定する「経済・経営学研究科」の授業科目を履修できる編成とする	社会福祉学専攻科目：18科目、社会福祉学、社会政策等の各特論（詳細はシラバスに記載） 看護学専攻科目：11科目、看護マネジメント学、基礎看護学等の各特論（詳細はシラバスに記載） 経済・経営学研究科の授業科目：5科目、経済理論、日本経済史特論等（詳細はシラバスに記載）	1. 社会福祉もしくは保健医療に関する課題を理論的に探究するため、主体的に学修する能力を有する。 3. 社会福祉学の発展に寄与し、社会に広く貢献したいという意欲がある
2. 自由・平等・友愛の民主主義思想と共生の理念に基づいた研究を行うことができる	3. より質の高い研究能力と実践能力の深化を図るため、社会福祉学、社会政策等、それぞれの専門的知見を深める「演習科目」と「修士論文指導」を設ける	専攻科目：14科目 社会福祉学、社会政策等の各演習および修士論文指導（詳細はシラバスに記載）	2. 社会福祉もしくは保健医療に関する専門的知識と実践力の更なる向上を目指す意欲がある
3. 複雑・複合化した生活課題の解決のための多角的視点での社会福祉学研究を行うことができる	1. 福祉・保健・医療にかかわる学際的な視野を涵養するために、環境保健学特論、精神健康学特論、保健・福祉研究方法論等の看護学専攻との「共通科目」を配置する	共通科目：4科目 精神健康学特論、環境保健学特論等（詳細はシラバスに記載）	1. 社会福祉もしくは保健医療に関する課題を理論的に探究するため、主体的に学修する能力を有する 3. 社会福祉学の発展に寄与し、社会に広く貢献したいという意欲がある
4. 個人の生活の質の向上と社会の健全な発展に寄与する研究能力を有する	1. 福祉・保健・医療にかかわる学際的な視野を涵養するために、環境保健学特論、精神健康学特論、保健・福祉研究方法論等の看護学専攻との「共通科目」を配置する 3. より質の高い研究能力と実践能力の深化を図るため、社会福祉学、社会政策等、それぞれの専門的知見を深める「演習科目」と「修士論文指導」を設ける	共通科目：4科目 精神健康学特論、環境保健学特論等 専攻科目：14科目 社会福祉学、社会政策等の各演習および修士論文指導	2. 社会福祉もしくは保健医療に関する専門的知識と実践力の更なる向上を目指す意欲がある 3. 社会福祉学の発展に寄与し、社会に広く貢献したいという意欲がある
5. 多様で複雑化した個別ニーズに対応できる実践能力を有する	2. 日々発展する社会福祉及びその関連分野に関する知識と技術の向上を図り、多角的視点での生活課題解決等を図れるリーダー人材を養成するため、社会福祉学特論、社会政策特論等の社会福祉学専攻の「特論科目」を配置し、さらに「看護学専攻科目」および本研究科の指定する「経済・経営学研究科」の授業科目を履修できる編成とする	社会福祉学専攻科目：18科目、社会福祉学、社会政策等の各特論 看護学専攻科目：11科目、看護マネジメント学、基礎看護学等の各特論 経済・経営学研究科の授業科目：5科目 経済理論、日本経済史特論等	1. 社会福祉もしくは保健医療に関する課題を理論的に探究するため、主体的に学修する能力を有する
6. 地域における共生社会の発展に資する実践能力を有する	2. 日々発展する社会福祉及びその関連分野に関する知識と技術の向上を図り、多角的視点での生活課題解決等を図れるリーダー人材を養成するため、社会福祉学特論、社会政策特論等の社会福祉学専攻の「特論科目」を配置し、さらに「看護学専攻科目」および本研究科の指定する「経済・経営学研究科」の授業科目を履修できる編成とする	社会福祉学専攻科目：18科目、社会福祉学、社会政策等の各特論 看護学専攻科目：11科目、看護マネジメント学、基礎看護学等の各特論 経済・経営学研究科の授業科目：5科目 経済理論、日本経済史特論等	1. 社会福祉もしくは保健医療に関する課題を理論的に探究するため、主体的に学修する能力を有する 2. 社会福祉もしくは保健医療に関する専門的知識と実践力の更なる向上を目指す意欲がある